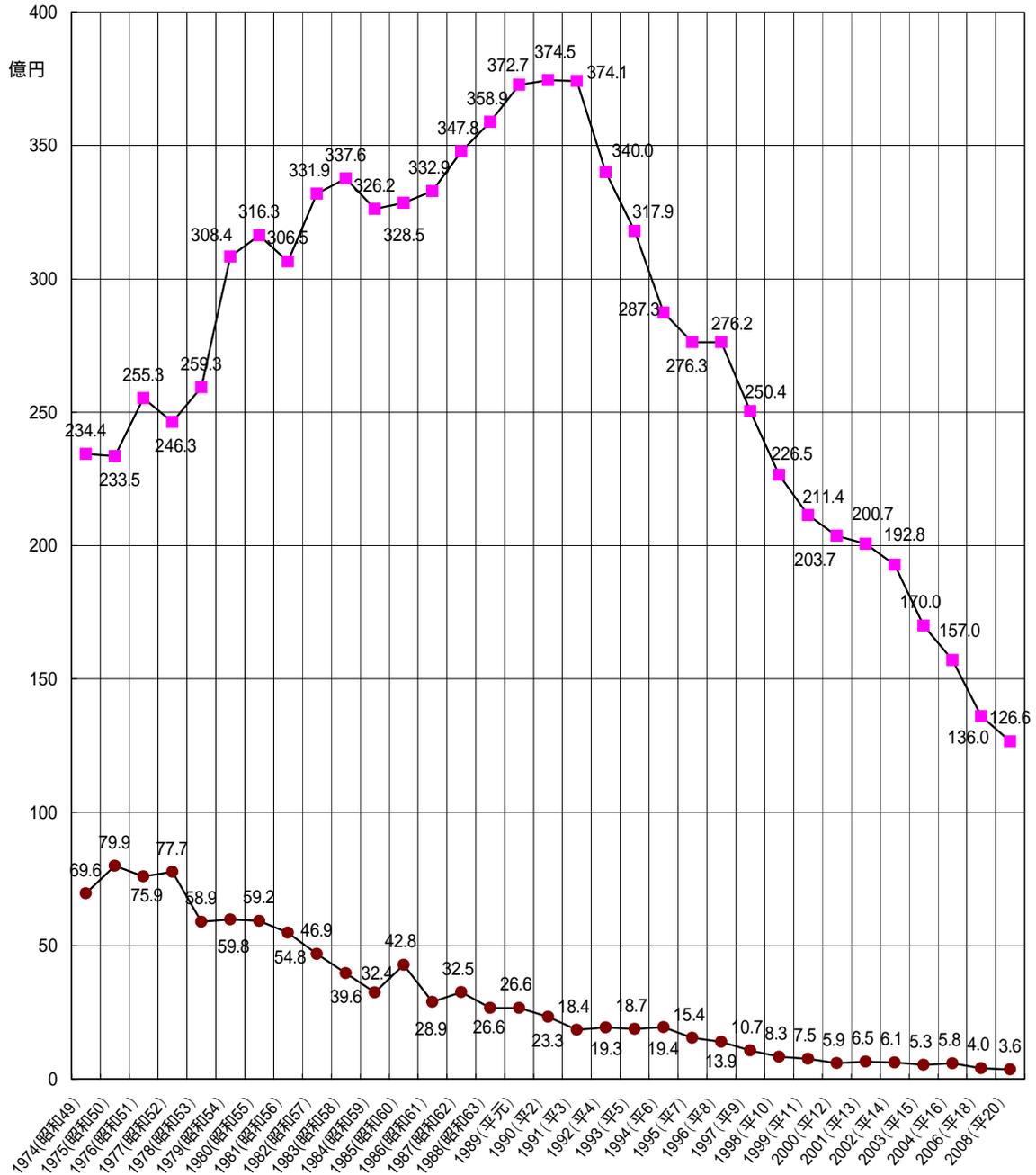


【銅・鉄器販売額の推移】

年	銅器(非鉄合金含む)		鉄器	
	販売額(千円)	前回比(%)	販売額(千円)	前回比(%)
2002(平14)	19,279,840	-	609,395	-
2003(平15)	17,004,411	88.2	526,729	86.4
2004(平16)	15,699,548	92.3	580,742	110.3
2006(平18)	13,596,361	86.6	401,727	69.2
2008(平20)	12,663,332	93.1	364,220	90.7



【銅器品種別販売額】

品 種	2008年(平成20年)		2006年(平成18年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
神 仏 具	7,088,319	56.0	7,821,199	57.5	90.6
室 内 置 物	1,277,894	10.1	1,371,135	10.1	93.2
花 器	655,777	5.2	729,628	5.4	89.9
屋 外 置 物	542,066	4.3	485,841	3.6	111.6
香 炉	423,414	3.3	413,117	3.0	102.5
茶 道 具	226,275	1.8	299,682	2.2	75.5
そ の 他	2,449,587	19.3	2,475,759	18.2	98.9
計	12,663,332	100.0	13,596,361	100.0	93.1

その他...文具・小物等、パネル、エクステリア製品等。

【鉄器品種別販売額】

品 種	2008年(平成20年)		2006年(平成18年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
室 内 置 物	184,298	50.6	220,752	55.0	83.5
文具・小物等	64,707	17.8	40,989	10.2	157.9
茶 道 具	12,970	3.5	14,267	3.5	90.9
そ の 他	102,245	28.1	125,719	31.3	81.3
計	364,220	100.0	401,727	100.0	90.7

その他...花器、屋外置物、香炉、パネル等。

【銅器品種別販売額及び割合の推移】

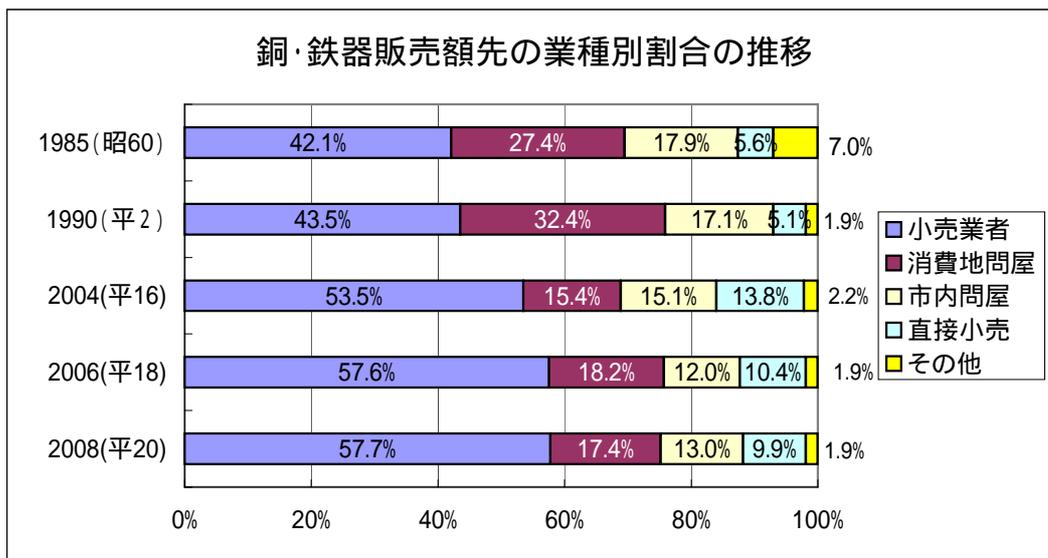
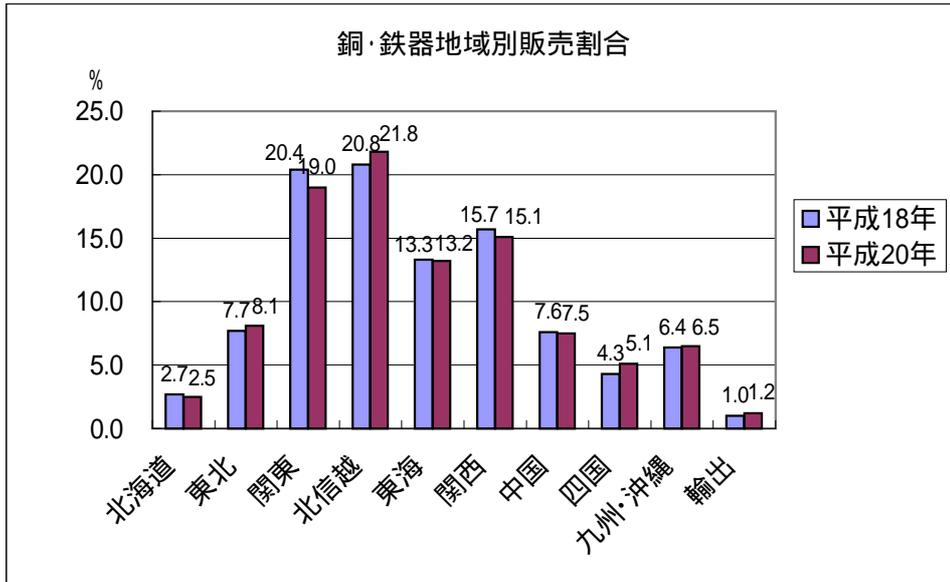
(単位:億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2004(平16)		2006(平18)		2008(平20)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	121.6	37.0%	143.8	38.4%	81.6	52.0%	78.2	57.5%	70.9	56.0%
室 内 置 物	58.5	17.8%	52.2	13.9%	13.7	8.7%	13.7	10.1%	12.8	10.1%
花 器	51.5	15.7%	61.6	16.4%	9.4	6.0%	7.3	5.4%	6.6	5.2%
屋 外 置 物	26.6	8.1%	38.5	10.3%	13.2	8.4%	4.9	3.6%	5.4	4.3%
香 炉	16.6	5.1%	17.7	4.7%	6.0	3.8%	4.1	3.0%	4.2	3.3%
茶 道 具	21.7	6.6%	25.3	6.8%	5.4	3.4%	3.0	2.2%	2.3	1.8%
そ の 他	32.0	9.7%	35.4	9.5%	27.7	17.7%	24.8	18.2%	24.5	19.3%
計	328.5	100.0%	374.5	100.0%	157.0	100.0%	136.0	100.0%	126.7	100.0%

【鉄器品種別販売額及び割合の推移】

(単位:億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2004(平16)		2006(平18)		2008(平20)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室 内 置 物	25.3	59.1%	12.3	52.8%	3.1	53.4%	2.2	55.0%	1.8	50.0%
文具・小物等	7.3	17.1%	4.9	21.0%	0.5	8.6%	0.4	10.0%	0.6	16.7%
茶 道 具	3.4	7.9%	3.0	12.9%	0.6	10.3%	0.1	2.5%	0.1	2.8%
花 器	1.7	4.0%	0.8	3.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.4	11.1%
そ の 他	5.1	11.9%	2.3	9.9%	1.6	27.7%	1.3	32.5%	0.7	19.4%
計	42.8	100.0%	23.3	100.0%	5.8	100.0%	4.0	100.0%	3.6	100.0%



【鑄造法別事業所数と生産額】

銅器

製法	2008年(平成20年)			2006年(平成18年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	34	2,445,259	46.5	47	2,782,150	50.4	72.3	87.9
焼型	13	117,750	2.2	13	137,190	2.5	100.0	85.8
双型	6	422,815	8.0	7	395,802	7.2	85.7	106.8
ガス型	14	508,765	9.7	15	539,988	9.8	93.3	94.2
蝟型	2	7,000	0.1	3	8,830	0.2	66.7	79.3
ロストワックス	9	342,299	6.5	11	377,257	6.8	81.8	90.7
金型	6	311,150	5.9	5	389,078	7.0	120.0	80.0
その他	27	1,106,117	21.0	26	895,024	16.2	103.9	123.6
計	111	5,261,155	100	127	5,525,319	100	87.4	95.2

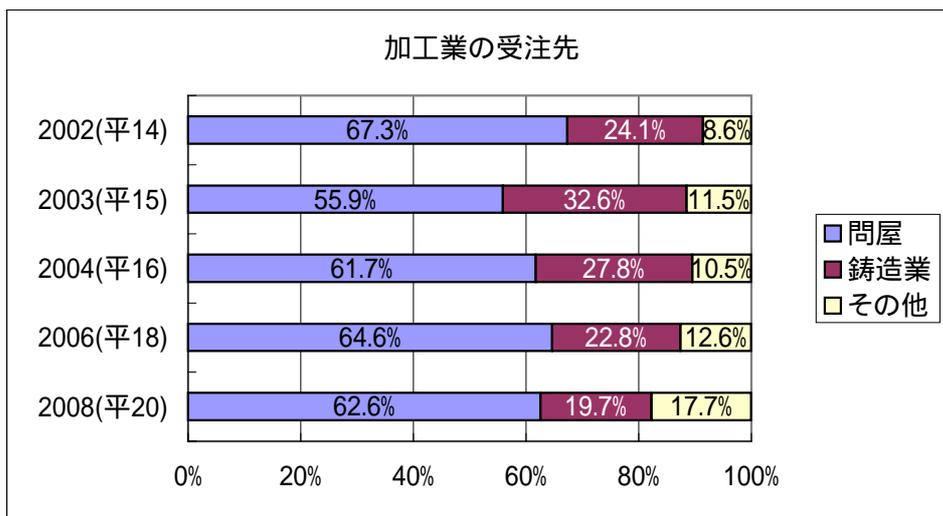
同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上した。

鉄器

製法	2008年(平成20年)			2006年(平成18年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	3	60,553	72.9	5	169,327	80.5	60.0	35.8
双型	2	22,500	27.1	2	41,087	19.5	100.0	54.8
計	5	83,053	100.0	7	210,414	100.0	71.4	39.5

【加工工程別事業所数と加工額】

品種	2008年(平成20年)			2006年(平成18年)			前回比(%)	
	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額
溶接	5	22,916	2.9	8	31,910	3.1	62.5	71.8
研磨	26	157,328	20.1	30	223,799	22.1	86.7	70.3
彫金	22	62,463	8.0	24	80,726	8.0	91.7	77.4
着色	46	438,679	56.2	52	506,242	50.0	88.5	86.7
仕上げ	13	99,421	12.7	17	170,611	16.8	76.5	58.3
計	112	780,807	100.0	131	1,013,288	100.0	85.5	77.1



【事業所数と従事者数】

問屋

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	135	125	75	77	78	101.3
従事者数(人)	1,599	1,400	706	702	670	95.4

鑄造

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	164	151	88	83	79	95.2
従事者数(人)	1,750	1,573	788	760	712	93.7

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	5	2
従事者数(人)	46	10

溶接

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	12	10	9	8	5	62.5
従事者数(人)	28	21	13	11	9	81.8

研磨

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	49	49	33	30	26	86.7
従事者数(人)	91	97	80	78	47	60.3

彫金

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	45	39	21	24	22	91.7
従事者数(人)	110	97	45	46	44	95.7

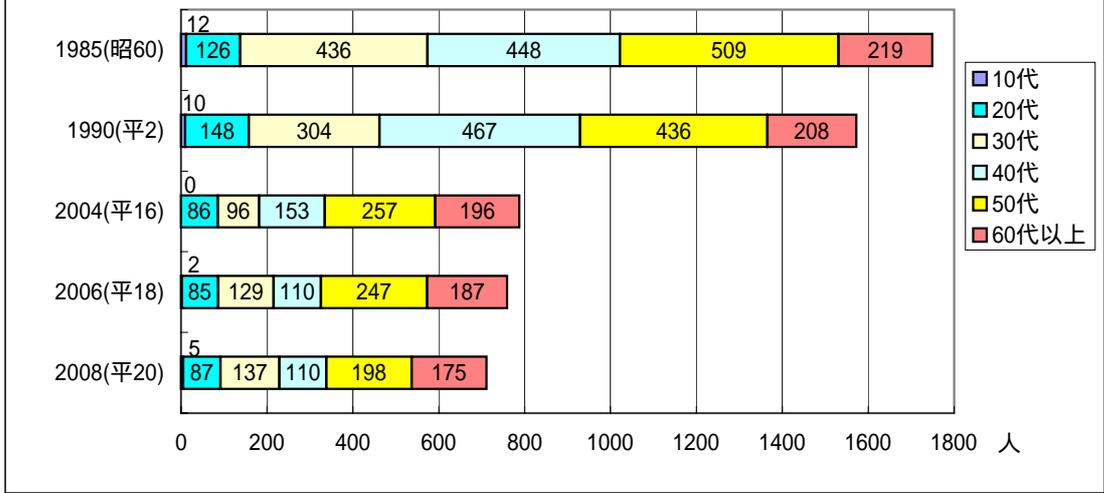
着色

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	76	69	48	52	46	88.5
従事者数(人)	410	367	220	200	132	66.0

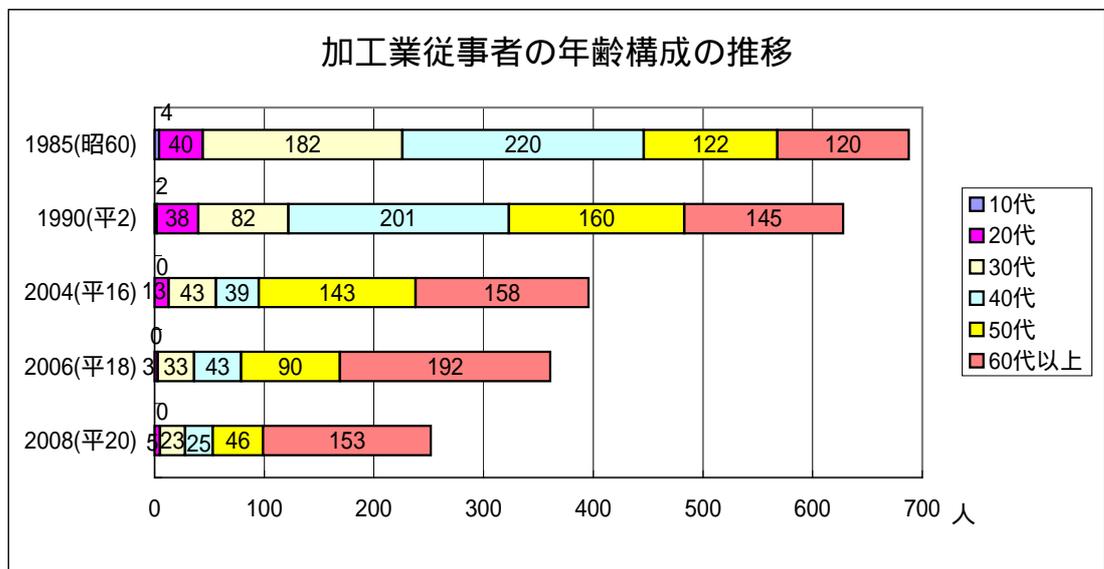
仕上げ

	1985(S60)	1990(H2)	2004(H16)	2006(H18)	2008(H20)	前回比(%)
事業所数(社)	22	18	16	17	13	76.5
従事者数(人)	49	46	28	26	20	76.9

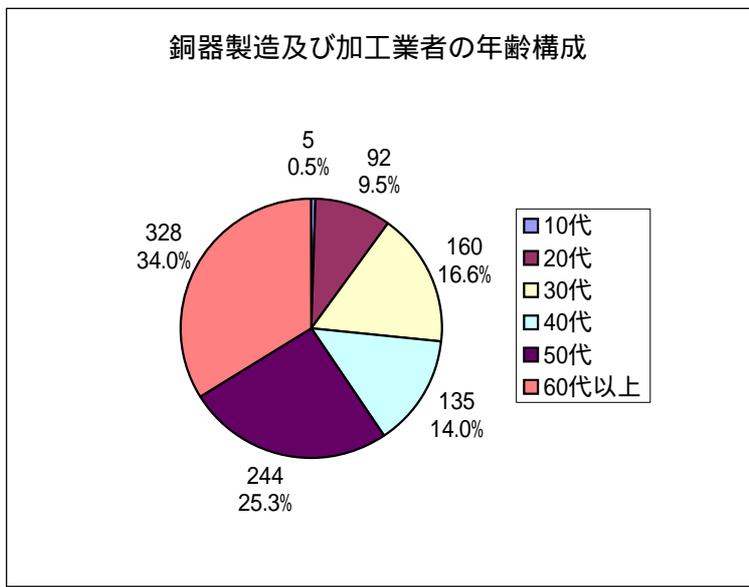
鋳造業従事者の年齢構成の推移



加工業従事者の年齢構成の推移

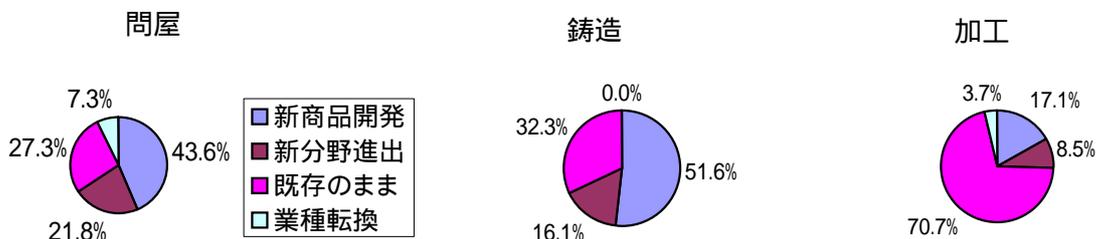


銅器製造及び加工業者の年齢構成



【意識調査について】

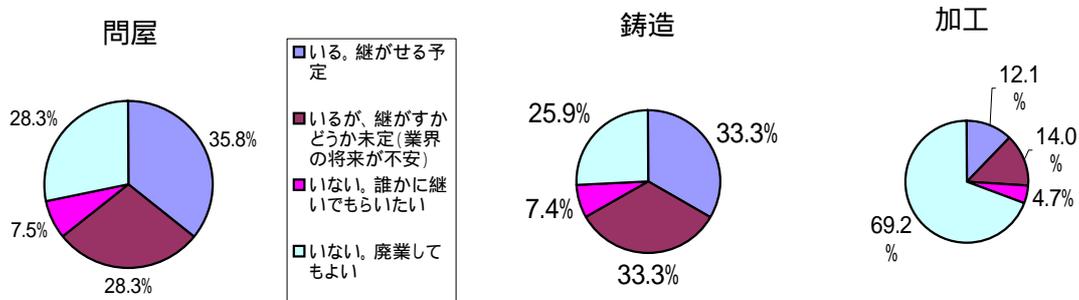
1 今後の方向性



問屋や鋳造業者については、新商品開発や新分野進出を考えているとの回答割合が高い。販売額、出荷額の減少が続く中、何とかして苦しい状況を打破しようと考えていると思われる。一方、加工業者は既存のままでよいとの回答割合が7割以上と高い。高岡銅器の加工技術の高さは、高い評価を得ており、従来どおり自分の持つ技術・技法にこだわる事業者の姿勢がうかがえる。

なお、問屋、鋳造、加工業者ともに業種転換を図ると回答した事業者の割合は低いが、銅器製造や取扱いを廃止し、休業・廃業している事業者が増加している。小規模事業者が多い市内の事業者にとっては、厳しい経営環境にあるといえる。

2 後継者について



後継者候補がいるとの回答は、問屋、鋳造業者において比較的高いが、継がすかどうか未定の割合も同様に高くなっている。後を継がせようにも、業界の将来が不安で後を継いでほしいと言えないという事業者の苦悩が垣間見られる。

加工業者については、自分の代で廃業しても良いとの回答が約7割と非常に高い。これは、高齢化が進んでいることや、受注が減少し改善が見られないこと、職人であるため定年制がないことなどが理由として考えられる。これまで培ってきた高度な伝統技術・技法を伝承していくためにも、早急な後継者対策が必要である。